

愛臨技学術部研究班活動報告書

所属：病理細胞検査研究班 提出日：2019年6月22日 報告者：長田 裕之

| | | | |
|----------|--|--------|-----------|
| 行事種別 | 研究会 | 行事番号 | 190003014 |
| 開催日 | 2019年6月15日(土) | | |
| 時間 | 開始 | 15時00分 | 終了 17時00分 |
| 場所 | リップルスクエア (所在地 名古屋市東区) | | |
| テーマ | ISO15189、JCI 認証について知ろう | | |
| 生涯教育履修点数 | 専門教科 20 点 | | |
| 司会 | 名古屋第二赤十字病院 | 長田 裕之 | |
| 講師 | 刈谷豊田総合病院 | 林 直樹 | |
| | 名古屋大学医学部附属病院 | 佐藤 浩司 | |
| | (株)エスアールエル 顧客サービス課 | 松本 登貴夫 | |
| 内容 | <p>講演1 「ISO15189 取得施設における、病理検査の品質・運用管理」林</p> <p>刈谷豊田総合病院におけるISO15189取得のためのプロジェクトチームの立ち上げから、取得後の運用についてまで詳細な説明がありました。その中では、ISO15189を取得したことにより、検査サービスの質の向上、顧客満足度の向上、責任と権限の明確化など、多くのメリットがあったことが紹介されました。また、ISO15189で要求される品質目標については、具体的に毎日、細胞診スクリーニングの数値目標を設定し、その目標を達成するために努力していることが紹介されました。ISO15189は取得するだけでは意味がなく、継続して改善していくことが大切だと分かりました。ISO15189取得を目指す施設だけでなく、更新を予定する施設にも参考になる内容でした。</p> <p>講演2 「当院病理部におけるJCI認証取得への取り組み」佐藤</p> <p>名古屋大学医学部附属病院におけるJCI取得について、ISO15189との違いを含めて説明がありました。ISO15189は臨床検査に特化したものであるのに対し、JCIは病院全体を評価するもので、要求事項も患者確認、感染予防、患者ケアなど1270項目あり、誰が質問されるか分からないなど、違いについて説明がありました。実際の病理検査室への審査では、剖検室の改善について指摘されたことが紹介されました。</p> <p>講演3 「ISO15189について」松本</p> <p>ISO15189の概要について説明がありました。「管理上の要求事項」では、検査室や検査結果の質を管理するために必要な仕組みや管理方法が求められ、「技術的要求事項」では正しい検査結果を出すために必要な能力や方法が求められるとのことでした。要求事項は標準作業書や日誌等の作成だけでなく、品質マネジメントシステムの構築、苦情処理、是正処置、評価及び監査など、多岐に亘りますが、一番</p> | | |

| | |
|---------|--|
| | <p>重要なことは、継続的に PDCA を回して改善する仕組みを作ることだと強調されていました。講演は ISO15189 を知らない初心者の方にも分かりやすい内容で、大変勉強になりました。</p> |
| 参加者 | <p>総数：71名（会員 68名、県外会員 0名、非会員 0名、賛助会員 3名、学生 0名、その他 0名）</p> |
| 共催、後援など | |

2016.6.28